

DISTRICT 2640



2013-2014 VOLUME 10

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

ガバナー月信

4月号

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー 第2640地区月信

- RI 会長メッセージ
- ガバナーメッセージ
- ガバナーノミニー確定宣言
- 年次大会へのお誘い
- 時代とともに歩む
- 雑誌・公共イメージ委員会報告
- 新会員報告
- 財団認証者・米山功労者
- 文庫通信
- 健康管理委員会より
- 出席報告

2013-2014年度ガバナー

久保 治雄

〒596-0825

大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号

TEL:072-437-2640 FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>





ロータリーの雑誌で経験を分かち合う

RI President Message ロータリーの雑誌で経験を分かち合う

2013～2014年度 国際ロータリー会長
ロン D. バートン

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーの雑誌を読むことは、ロータリークラブの例会に出席するのと同様に、ロータリアンであるための経験を分かち合う大切な要素です。オーストラリアの『Rotary Down Under』であれ、日本の『ロータリーの友』であれ、ロータリーの出版物を手にとれば、それらの一冊一冊が提供するもの、何を意図しているかがわかるでしょう。それは情報を提供し、やる気を起こさせるということです。最新のロータリーニュースを掲載し、ロータリーの奉仕に役立つ新しいアイデアをもたらし、そして私たちにとって適切で重要な記事を届けてくれます。私にとって世界中で発行されるロータリーの出版物は、個々のクラブがローカルなもので、地域社会に根差した存在で、真に地球規模でのネットワークを実践しているという、ロータリーの最大の強みを実際に表現してくれるものです。

地域性と国際性を併せ持ったロータリーの雑誌

この組織は、驚くほど大きく、多様性に富んでいます。そして、私たちすべてがロータリーについての共通点を持っているのと同様に、一つですべてを賄うこともできないのです。文化や言語において、私たちの雑誌に対する期待は、当然、違ってくるでしょう。私たちの地域的な出版物によって、ブルガリアのロータリアンは、エバンストン（R I 世界本部のある町）からの最新ニュースに加えて、ブルガリアで起こっていることや、ロータリー世界のどこかで起こっていることを知ることができます。ロータリーの出版物は、それぞれがロータリー雑誌の家族に属しているので、ロータリークラブのように、地域性と国際性を併せ持っているのです。

ロータリーの雑誌で誇りを感じてください

国際ロータリーの会長であることの最大の特典の一つは、120万人のロータリアン一人ひとりに毎月、直接話しかけられることです。リビングに腰掛けて、あ

るいは朝食のテーブルで、あるいは通勤中の電車の中で、この文章を読み、ページをめくってロータリーの新しいことを見いだしている皆さんすべてのことを考えながら、この原稿を書く時、畏敬の念が湧いてきます。皆さん一人ひとり、まさにこのようにしてロータリーの雑誌をお読みになっていることでしょう。メールボックスにロータリーの雑誌が入っていたからとか、義務だと感じるからではなく、ロータリーの雑誌は、良い雑誌だから読むのです。皆さんが雑誌を手にする時、私と同じような誇りと大志を得てほしいと思います。

ロータリーの雑誌は、ロータリアンとして、私たちすべてが自分たち自身より大きなものの一員であることを思い出させてくれます。ロータリーの雑誌は、私たちがロータリーを通してどれだけ多くのことを達成できるのかを、教えてくれます。ロータリーの地域雑誌を通して、ロータリー財団に寄付したお金が何に使われたか、仲間のロータリアンは何をしているのかを知ることができます。そして私たちは「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」へと駆り立てられるのです。



2013～2014年度
国際ロータリー会長

ロン D. バートン





ガバナーメッセージ (1)

Governor's Monthly Letter
クラブ会長・幹事様

国際ロータリー第 2640 地区ガバナー
久保治雄

☆ 4月は、雑誌月間です

国際ロータリー (RI) の公式機関誌「ザ・ロータリアン」および世界 31 の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌(「ロータリーの友」など)に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。RI はこの月間中に雑誌に関するプログラムの実施を勧めて居ます。

チェスリー・ペリー (Chesley Perry) 国際ロータリー初代事務総長が創刊した、「ザ・ナショナル・ロータリアン」(The National Rotarian 1912年に「ザ・ロータリアン」に改称。)が発刊された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌週間としていましたが、その後、4月に特別月間として改定されました。「ロータリークラブ定款第14条ロータリーの雑誌」には、「各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌、またはRI理事会から本クラブに承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌を購読しなければならない」と定めています。

ロータリーの公式雑誌「ザ・ロータリアン」を発刊に至った経緯が、ディビット C. フォワードの「奉仕の一世紀 (国際ロータリー物語)」に、以下のように述べられています。

『通信には重複する内容が多かったため、チェスリー・ペリーは、クラブとの連絡をもっと効果的に行う方法、すなわち、ロータリーについてのあらゆる重大ニュースを書いて、それを全クラブに送る方法が必要だと実感するようになった。1910年の大会に出席した代表委員の一人から、連合会誌の発行が提案されたが、このような中央集権的な意見の発信は地元クラブの自律性を侵害するという恐れからこの提案は

却下された。「こうした出版物を支配する者が連合会を支配する」ことを恐れたのだとペリーは述懐している。こういういきさつから、大会は、事務長による「印刷物の配布」を許可するという文面にこの提案を修正した。こうしてポール・ハリスはその後今日まで続けられてきた伝統を開始した。

全米連合会の会長として、ポールは6,000単語に及ぶ「合理的ロータリー主義 (Rational Rotarianism)」という書物を執筆し、ロータリーの魅力を記述した。「もし神の導きで、いつの日か巨大なコロシアムの演壇に立ち、すべてのロータリアンの目を見ながら私が一言だけ語ることを許されるなら、一瞬の躊躇いもなく、私は大声を張り上げてこう叫ぶ「寛容!と。」これが冒頭の言葉であった。

ポールは、チェスリーにガリ版でこのエッセイを印刷して全米23クラブの2千人のロータリアン全員に郵送するように依頼。ペリーは資金が無いことから、このエッセイをパンフレット形式にし、新聞のように有料広告を掲載することにして、スポンサーを募ってはどうか?と実物大の見本を作り上げ、所属クラブの仲間に見せるとその中の数人が広告スペースを購入したいと申し出た。

「ザ・ナショナル・ロータリアン」創刊号は1911年1月にロータリアン全員に郵送された。ペリーの名案によって、この印刷と発送すべてがわずか25.44ドルの純費用で賄うことができた。彼は、これを一回限りの仕事だと考えていた。しかし、雑誌を送ってほしいという要請で再版として2,000部を印刷した。さらに続いて第2号のリクエストも多かった。』文献資料2013年4月24日号 芦屋ロータリークラブ クラブ組織委員会 研修担当 知っておきたいロータリー情報 (No.10)



ガバナーメッセージ (2)

新しい雑誌の発行が決定



1952（昭和27）年4月、第60地区の大会が開催されました。同年7月に迎える新年度（1952－53年度）から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割されることに決定されていましたので、主催者も参加者も、共に深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会でした。この地区大会では、いくつかの問題が話し合われましたが、その一つに、日本の2地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として、企画されたのです。

第1回の準備会は大阪で、当時の星野行則ガバナーと露口四郎氏（共に大阪ロータリークラブ）が幹事役となって、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブの代表者が出席して開催されました。

『ロータリーの友』と命名

新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは、同年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953（昭和28）年1月から、毎月発行すること、価格を50円とするが、広告を取って

100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定されました。

また、この会合では、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票を行ったところ、2対1の割合で、横書きが採用されることになりました。戦後10年もたっていないという時代背景を考えると、この結果は、当時のロータリアンが、いかに先進的な考えをもっていたかを知ることのできるエピソードです。

岐阜での会合で、広告を取ることが決定したものの、当初は発行部数が3,300部にすぎなかったこと、また、戦後の混乱が少し落ち着いたというものの、まだまだ経済的には厳しかったこともあり、広告のスポンサーを見つけることは容易なことではありませんでしたが、創刊に携わったロータリアン自らが走り回り、苦勞して広告を取ったという逸話が残っています。

創刊号の富士山の表紙は、その後、『ロータリーの友』にも、何回か写真を載せましたので、ご存じの方も多いと思いますが、実はこの表紙、1月号から6月号まで、絵柄は全く同じものでした。北斎の「凱風快晴」という題の作品です。ちなみに、8月号から9月新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは、同年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953（昭和28）年1月から、毎月発行すること、価格を50円とするが、広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定されました。

また、この会合では、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票を行ったところ、2対1の割合で、横書きが採用されることになりました。戦後10年もたっていないという時代背景を考えると、この結果は、当時のロータリアンが、いかに先進的な考えをもっていたかを知ることのできるエピソードです。

岐阜での会合で、広告を取ることが決定したも

ガバナーメッセージ (3)

の、当初は発行部数が 3,300 部にすぎなかったこと、また、戦後の混乱が少し落ち着いたというものの、まだまだ経済的には厳しかったこともあり、広告のスポンサーを見つけることは容易なことではありませんでしたが、創刊に携わったロータリアン自らが走り回り、苦労して広告を取ったという逸話が残っています。

創刊号の富士山の表紙は、その後、『ロータリーの友』にも、何回か写真を載せましたので、ご存じの方も多いと思いますが、実はこの表紙、1月号から6月号まで、絵柄は全く同じものでした。北斎の「凱風快晴」という題の作品です。ちなみに、8月号から9月号は、広重の「舞子の濱」という作品で、表紙の写真や絵が毎月替わるようになったのは、創刊翌年の4月号からです。毎月同じ絵柄の表紙とはいふものの、それぞれの色が随分違っているのは、デザインでしょうか、当時、カラー印刷の技術が進んでいなかったためでしょうか。

(縦組みと横組みが分かれた最初の号)



1972年1月号

最初、横書きでスタートした『ロータリーの友』ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。ページを開いていくと、横書きの中に、突然縦書きのページが出てきて読みにくいという読者の声を受けて、1972(昭和47)年1月号から、左に開けると横書き、右に開くと縦書きの現在のような雑誌の形になりました。このときの表紙は、陣羽織で、横書

きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。

国際ロータリー公式地域雑誌に

1977年、標準ロータリークラブ定款第10条(現14条)の改定に伴い、公式地域雑誌(現ロータリー地域雑誌)の規定が設けられました。これにより、ロータリアンは、国際ロータリー(RI)の機関誌『The Rotarian』だけでなく、RIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。

『ロータリーの友』は、1979年7月号から1年間の試験期間を経て、1980年7月号からRI公式地域雑誌になりました。公式地域雑誌の要件はいろいろと定められており、また、時代とともに多少変化をしています。

要件の一つに、「毎年、年度の始まる7月号の表紙には、国際ロータリー(RI)会長の写真を掲載する」ということがあります。試験期間の始まった1979年の7月号が、RI会長の写真を表紙に掲載した最初です。したがって、日本で2人目のRI会長である向笠廣次氏(1982-83年度)は、表紙になっていませんが、それ以前にRI会長に就任した東ヶ崎潔氏(1966-67年度)は、RI会長としては、残念ながら表紙に載っていません。ただし、それより早く、ガバナー時代の1957(昭和32)年8月号に、ほかのガバナーとともに登場しています。ご存じの通り、一昨年は日本から30年ぶり3人目のRI会長の田中作次氏ですが、一昨年7月号の表紙に、夫妻の写真が掲載されました。



ガバナーメッセージ (4)

カラフルに、ビジュアルに

はじめ、表紙以外はモノクロでしたが、1986(昭和61)年から、「ロータリー・アット・ワーク」(横組み写真のページ)のトップの取材ページ(当時は同欄の2～3ページが取材記事)をカラーに、縦書き、横書きの巻頭各8ページを2色刷りにしました。写真のページをカラーにし、2色刷りのページを入れると、当然印刷費は高くなりますが、この費用を捻出するために、用紙の厚さや種類を変更して用紙代を節約するなどの工夫をしています。

時代の変化に合わせ、カラーページも増えてきましたが、2003年7月号からはすべてのページをカラー印刷にしました。この時は、編集工程を見直すことによって、コストをそのままに、全ページのカラー化を実現することができました。

写真を多く、そして大きく扱うようになりました。デジタルカメラの普及により、投稿写真がデジタルデータで送られてくるようになりました。編集スタッフの取材写真もフィルムからデータへ。そのおかげで、写真やフィルムをスキャンするコストがほとんどかからなくなり、写真をふんだんに使えるようになりました。今年度からデジタル化も導入されています。



国際ロータリー第2640地区ガバナー

久保治雄





2015～2016 年度 国際ロータリー第 2640 地区

ガバナーノミニー確定宣言

R I 細則 13.070 特別選挙に基づき、R I 細則 13.020 節の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により、2015-2016 年度ガバナー候補者推薦について、2013 年 12 月 24 日各クラブへ通知いたしましたところ、2 クラブより推薦がありました。2015-2016 年度ガバナー指名委員会は、候補者選出において合意に達することができませんでした。よって RI 細則第 13.040 節に規定されている郵便投票でガバナーノミニー選挙を実施致しました。郵便投票の結果、和歌山城南 RC 会員 岡本浩君を国際ロータリー第 2640 地区 2015-2016 年度ガバナー候補者とすることに決定いたしましたので、ここに宣言いたします。

2014 年 3 月 28 日

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 久保 治雄



ガバナー就任年度 : 2015-2016 年度
氏名 : 岡本 浩 (おかもと ひろし)
生年月日 : 1946 年 9 月 17 日
職業分類 : 弁護士
ロータリー略歴 : 17 年
2007-2008 年度 クラブ会長



『ロータリーの友』は、1953年に創刊しました。以来、毎月、その時、その時の情報をお届けしてきましたから、今日までの『ロータリーの友』を見ますと、日本のロータリーの歴史を見ることができます。それと同時に日本の歴史も映し出しています。

今、発展途上国の農家にオス豚とメス豚を1匹ずつ贈って、繁殖させて家計を豊にするというプロジェクトを実施しているクラブがありますが、昭和30年代ころ、同じようなプロジェクトを発展途上国の農家ではなく、日本国内の農家を支援するために実施していました。高度経済成長の前ですから、日本もまだまだ貧しかったのだと思います。寄贈された救急車の写真を見ても、クルマの形が随分違ってきます。また、そこに写っているロータリアンや奥さまたち、そして子どもたちの服装や髪型も随分変わりました。



サイズはB5判でスタートしましたが、2002年7月号からは現在のA4変形判に変更しました。これはB5判で作られていた『ガバナー月信』や『クラブ週報』がA4判に変わってきた時期です。

同時に、編集方法もこの時から事務所内でのコンピューター編集に変わり、インターネットなどIT技術の発展によって、ファクスやエアメールで送られてきていた『The Rotarian』の原稿が、Eメールで送られてくるようになりました。写真はデータの容量が大きく、Eメールは使えませんが、現在では専用のサイトからダウンロードできるようになりました。

ご存じのように、昨年4月の規定審議会で、ロータリアンの皆さまはロータリーの地域雑誌に関して、印刷版か電子版を選択できるようになりました。準備のために地域雑誌の編集事務所には時間的な猶予が与えられていますが、『ロータリーの友』では本年1月号から、試験的に電子版を発行しています。年末に全クラブにご案内を出させていただきましたが、知らない方も多いようです。『ロータリーの友』のホームページ www.rotary-no-tomo.jp でご覧いただけます。IDとパスワードの入力が必要ですが、この誌面ではご紹介することはできません。各クラブへの案内状をご覧ください。

このように、『ロータリーの友』誌は時代の変化に合わせて変わってきています。しかし、変わらない点もあります。それは、この雑誌が、日本のロータリアンによって作られているということ、日本のロータリアンの活動や意見を映し出す鏡のような存在であるということ、そして日本のロータリアンが読んでくださっているということです。

『ロータリーの友』は、これからもロータリアンの活動やご意見を映し出す鏡である続けるでしょう。皆さまのご協力をお願いいたします。



『雑誌・公共イメージ委員会』

雑誌・公共イメージ委員会
ロータリーの友地区代表委員
乾 一嗣

4月は雑誌月間ということで雑誌・公共イメージ委員会と併せロータリーの友委員としての報告をさせていただきます。

雑誌・公共イメージ委員会としては今年度の一番大きなプロジェクトとして「ポリオ撲滅キャンペーン」の一環としてのラジオによるメッセージのスポット放送の実現を目標に挙げて取り組んできました。そのプロジェクトも無事に遂行することができ、2月のガバナー月信でも取材の記事として掲載いたしました。放送開始日を記念すべき2月23日のロータリー誕生日に調整することができたことも委員長以下委員会の努力が実ったものと確信しております。この企画は今回で終わることなく次年度でも引き続き和歌山放送様と連携して継続していただきたく思います。



また今年度は「ロータリーの友」地区代表委員も任命され、当委員会と平行して活動しております。「友」委員といっても皆さんには馴染みが薄いかもしれません。私自身もはじめは「友」という名称からなんとなく柔らかな雰囲気や団欒な印象を持ちましたが、いざ使命を受けると、まず前任者から友委員としての成すべき事のレポートを渡され、こんなにしなければいけないのかと正直驚きましたが、隔月毎に全国またはゾーン別の会議が開かれ情報誌「ロータリーの友」をいかにより良いものにしていくかを意見、討論し、また毎号の感想や意見のレポートを友事務所に送るというような活動で「友」誌の向かうべき方向に携わってきております。

私たちロータリアンの義務の一つに「友」誌の購読があります。友委員の基本活動は地区内のメンバーにその購読の（読）を促し、各メンバーやクラブからの「友」誌への記事の投稿を勧めることとされています。「友」誌が興味を持って読まれることの要因の一つとして自地区内からの記事が掲載されていることも挙げられるのではないかと思います。そして「友」委員として地区内から発信された記事を見つけると日頃の活動が報われたような、救われたような気がします。

「友」誌はヨコ組タテ組、沢山の情報が掲載されていて離れた地域の情報もいち早く知ることができ日頃の活動に参考になることも多いと思います。どの記事も各地区のロータリアンが投稿した記事です。「友」誌をより興味のあるものにしていく要因は各メンバー、各クラブに大きく依存しています。「友」誌は私たちロータリアン全員でつくっていることを忘れないでいただきたいのです。

また今年1月からは「友」誌は従来の冊子版に加え電子版もインターネットで閲覧できるようになりました。在任期間中に電子版の全てが完結すると期待しておりましたがまだまだ問題が残っているようで残念です。購読料の件や冊子版との区別もまだ決定事項は出ておりません。メンバーの皆様からも意見を出してはいかがでしょうか。いろいろな意見が参考になるのではないのでしょうか。

これからも第2640地区のメンバーの皆様への積極的な参加協力を期待いたします。

『2013学年度米山記念奨学生
奨学期間終了者終了式および歓送会報告』2013学年度地区米山記念奨学委員会
委員長
谷野一彦

去る、3月2日（日）、ホテルサンルート関空に於いて、2013学年度米山記念奨学生奨学期間終了式および歓送会を挙げていただきました。久保治雄ガバナーをはじめ、学生指導教官、世話クラブ会長およびクラブ米山委員長・カウンセラーの皆様ほか、多数、70余名の方々にご臨席を賜りました。

久保治雄ガバナーより、終了証を授与された終了生20名は、一人一人が、2640地区米山記念奨学生としての自覚と誇りを胸に、これからの未来へ自信に満ちた顔で巣立って行きました。

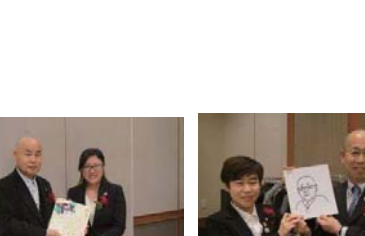
当日、サプライズで、学生らが自ら考えて準備した、世話クラブカウンセラーの方への手作りの感謝状（メッセージボード）が贈られ、歓送会では、学生たちにより、感謝の歌の合唱とともに、1輪1輪に気持ちを込めてつくったお花が贈られたりと、会場全体が大きな感動に包まれました。終了生のみならず、継続学生4名からも同様に、今まで育ててきた絆と誇りが感じられ、学生たちが伝えたかった心からの感謝の意が、ご臨席いただきました皆様にも伝わったことと思います。本当にありがとうございました。

おかげ様で、2013学年度は、つつがなく奨学期間を終了することができました。学生にとりまして、世話クラブ様、カウンセラー様と出逢えたことは、これからの人生におきまして、かけがえのない宝物となったことでしょう。学生に対し、日本の心、ロータリーの精神を丁重に伝えお導き頂き、手厚いお世話、ご指導を賜りましたこと、心より深く御礼申し上げます。

また、多くのクラブ様より、米山記念奨学生を招聘いただき、卓話の機会を賜りましたこと、重ねて御礼申し上げます。世話クラブ以外での卓話の機会は、奨学生にとって、大変貴重な経験となり、奨学生がより多くの日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となりました。この経験を活かし、必ずや母国と日本の架け橋となり、更なる活躍を遂げてくれることでしょう。

最後になりましたが、今後とも、外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う"心"を育てるという事業創設の理念をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終了式写真 1







新入会員のご紹介



吉田 紘
よしだ ひろし

所属クラブ：Rotary E-Club Sunrise of Japan
生年月日：1940年12月6日
職業分類：歯科医



濱田 博文
はまだ ひろふみ

所属クラブ：Rotary E-Club Sunrise of Japan
生年月日：1953年3月6日
職業分類：山林業



上田 裕紀
うえだ ひろき

所属クラブ：御坊南
生年月日：1967年1月26日
職業分類：バス事業



河野 幸平
こうの こうへい

所属クラブ：松原
生年月日：1940年8月9日
職業分類：通信機器輸出輸入



吉岡 笑子
よしおか しょうこ

所属クラブ：堺フラワー
生年月日：1948年1月18日
職業分類：不動産管理業



柏原 康文
かしはら やすふみ

所属クラブ：和歌山城南
生年月日：1952年2月21日
職業分類：テレビ放送



林 芳史
はやし よしふみ

所属クラブ：和歌山南
生年月日：1968年3月25日
職業分類：内装資材卸



辻 俊幸
つじ としゆき

所属クラブ：和歌山南
生年月日：1969年7月12日
職業分類：警備保障



水城 実
みずきみのる

所属クラブ：和歌山南
生年月日：1970年1月27日
職業分類：税理士



PHF・MPHF・ベネファクター 認証者 2014年2月

Club	Name	
Kaizuka Cosmos	Masako Yanagida	F
Sakai Izumigaoka	Hirohisa Ikeo	F
Sakai North	Kuniaki Yonezawa	F

F・・・ポール・ハリス・フェロー

数字・・・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

BE・・・ベネファクター

米山功労者 米山功労クラブ (2月)

クラブ	氏名	表彰名
堺北	濱口 正義	第46回 米山功労者メジャードナー



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料から

- ◎「戦国を生き抜いた知恵」 細川護熙 2013 7p (D.2650 地区大会記念誌)
- ◎「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」 川口淳一郎 2013 4p (D.2820 地区大会記録)
- ◎「日本人の持つべき国家観について」 渡部昇一 2013 11p (D.2520 地区大会記録誌)
- ◎「世界の人々のために」 緒方貞子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- ◎「これからの両国のきずな」 山東昭子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- ◎「軍艦『筑波』—偉大なる航海(上)(下)」 岡村健 2013 23p (福岡南RC月報)
- ◎「『がんばらない』けど『あきらめない』」 鎌田實 [2013] 1p (D.2840 地区大会報告書)
- ◎「これからの生き方」 山田法胤 2013 2p (D.2700 地区大会の記録)
- ◎「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」 セーラ・マリ・カミングス [2013] 21p (D.2800 地区大会記念誌)
- ◎「平和と命」 深川純一 2013 20p (第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』」 鍵山秀三郎 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)

[申込先：前岡志郎 FAX(0977)26-1444]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日





ハイライトよねやま 168

1 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べ1.2%増、約1,200万円の増加です。普通寄付金が0.6%減、特別寄付金が2.2%増となりました。2月単月の特別寄付金が、直近5年間で2番目に低い金額となったものの、先月に引き続き、累計額ではこの5年間で最高額を維持しています。今後とも当会事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

さまざまな寄付のカタチ

— 退会後から毎年10万円のご寄付 —

長崎南RCの元会員、小川春彌氏は5年前に退会後、クラブ事務局を通じて毎年10万円を寄付され、このたび50万円を達成されました。小川氏は、「ロータリーのプログラムで特に素晴らしいと感じたのは青少年の育成。もう二度と戦争に向かうようなことがあってはならない。平和を守るために大切なのは軍備ではなく、人を育てること。受けた恩を忘れぬ気持ちは世界共通であり、これらを具現化しているのが米山奨学事業だと思う。支援した学生が国を動かすようになるには時間がかかるが、継続が重要。命のある限り支援を続けていきたい」と、語ってくださいました。



ご家族に囲まれる小川氏(前列中央)

2 モンゴルに海外6番目の米山学友会が誕生！

海外6番目となる米山学友会がモンゴルで設立されました。3月1日にウランバートル市内で開催された創立記念祝賀会には、学友24人、日本からロータリアン9人のほか、元駐日モンゴル大使や在モンゴル日本国大使館一等書記官、フレールC会長など来賓を含む40人以上が参加。創立会員34人の中から、初代会長にジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99/山形北RC/現在フレールC会員)、副会長にバルジンニヤム・バトゾリグさん(2007-08/津久井中央RC)、ほか5人の役員が選任されました。ジャンチブ会長は「長年の夢をようやく実現することができた。日本のロータリアンが育ててくれた学友たちの力を結集し、皆で頑張っていて活動していきたい」と、抱負を語りました。また同日、モンゴル国各省庁から表彰状および感謝状が当会理事長をはじめ、関係ロータリアンに贈られました。当日は地元メディアの取材もあり、ニュースなどで報道されました。



理事長に代わって表彰を受ける
岩邊事務局長(左)



総会を歌で盛り上げたボロルマーさん
(左)と受付・撮影・メディア対応の学友



締めくくりは全員で「手に手つないで」



3

新地区補助金によるベトナム奉仕活動に米山学友が協力

第2770地区の越谷RCでは、新地区補助金による国際奉仕活動として、ベトナム出身のグエン・デュン・ティハイさん（2011-13/越谷RC）の協力のもと、ベトナムの幼稚園に水のろ過装置を設置しました。今年1月17日、ダナン国際空港に降り立った一行をグエンさんの家族が出迎え、バスで2時間をかけてビンフー幼稚園に到着、贈呈式ではグエンさんが通訳をつとめました。グエンさんのカウンセラーで、現在、クラブ国際奉仕委員長をつとめる須賀定吉会員は、「バスに乗った我々に幼稚園の先生や園児、近所の人までが懸命に手を振り、見送ってくれた姿が今も目に焼き付いている。慣れない土地で任務を果たすことができたのは、グエンさんやご家族のおかげ。彼女のご両親からは日本のロータリーへの感謝の言葉もいただいた」と、喜びを語りました。



こぼれ話



レ・グエン・フォンさん

いつも日本人を見かけたら、声をかけることにしています。今回はレストランで日本語の会話が聞こえたので、「お味はいかがですか？」と話しかけました。そうしたらロータリアンだということがわかり、驚きました。元奨学生として、ベトナムで日本のロータリアンにお会いでき大変嬉しいです。もつとお話して地元を案内したかったですね。

越谷RCの皆さんが夕食を済ませホテルへ帰る際、一人の青年が突然、「私は日本に留学し、ロータリー米山記念奨学生となって大変助かりました」と、話しかけてきたそうです。その青年はレ・グエン・フォンさん（2007-09/西那須野RC）。2011年に帰国後、国立ダナン工科大学建築学科で教鞭をとるかたわら、日本人を主な顧客とする個人設計事務所も開き、仕事に励んでいます。

4

17年ぶりの再会に感激 —スレス・ダス・シュレスタさん—

昨年10月に創立されたネパール米山学友会の会長、スレス・ダス・シュレスタさん（1994-96/大阪天王寺RC/現在カトマンズRC会員）が島根大学からの招へいで来日する機会を利用し、第2660地区の地区大会（2/21-22）に参加。その折り、高齢のため退会したカウンセラーと、17年ぶりの再会を果たしました。

「知らせを受けた日から心は高揚し、待ち焦がれていた」と語る、カウンセラーの和泉俊治氏。スレスさんと共に学友会の設立に尽力した大阪在住の学友、ディネス・プラサド・シュレスタさん（1991-92/宝塚武庫川RC）も交えた3人での会食は、ネパールの水資源開発や教育の問題、ロータリーや家族のことなど、尽きることのない話題に盛り上がり、時間を忘れるほどだったと言います。

「和泉先生はとても88歳とは思えない若々しさで、会ってすぐに“シュレスタ！”と昔と変わらない声で呼ばれ、20年近い時を超えて学生の時に戻ったようでした」と、スレスさんは再会を振り返り、和泉氏も「彼の成長した姿、国の発展と専門分野の教育指導にあたる様子を知り、カウンセラー冥利に尽きる、楽しくうれしい、充実した一日でした」と、感激の言葉を寄せてくださいました。



スレスさん(右)とカウンセラーの和泉氏



第2640地区 堺泉ヶ丘ロータリークラブ (クラブID 24234)
会員22名 会長 西田 泰庸 (会員ID 3452134)

『手に手つないで』東日本大震災復興支援キャンペーン

平成26年(2014年)2月23日(日)午前10時~午後2時30分
於: 泉ヶ丘駅前噴水広場

朝から天候に恵まれ、未来計画室の永田 泰室長の開会宣言、城山鼓葉の和太鼓のオープニング、西田 泰庸会長の挨拶で始まりました。東北のもち米を使ったお餅を1000個、炭火で焼き、会場の皆さんに焼き餅にして配布致しました。復興キャンペーンに皆様方からのご寄附をお願いし、そのお金を東北の被災地に送ることを目的と致しました。おかげで沢山の人からご寄附をいただきました。チャリティーライブの出演者の素晴らしい歌声に心を和ませて頂きました。さらに、よさこいチームの皆さんの迫力ある踊りの後、市民の皆さんも参加し、手に手つないで和やかなひとときを過ごすことが出来ました。1000個の焼き餅を食べて、東北からの元気をもらいました。ゆるキャラが子供たちと一緒に写真を撮ったりして、楽しい一日を過ごすことが出来ました。この企画に賛同いただいた100人を超えるボランティアの皆さん、大変お世話になりました。無事に東日本大震災復興支援キャンペーンを終わる事ができ、ご協力いただいた方々に深く御礼申し上げます。

<協賛団体>

- ・泉ヶ丘専門店会
- ・一般財団法人 大阪府タウン管理財団泉北事業本部
- ・泉北ニュータウン再生府市等連携協議会
- ・第5回 堺よさこいかえる祭り実行委員会
- ・地域社会共同隊 テニテクラブRCC

<チャリティーライブ出演者>

- ・小林 健人さん
- ・越田 友博さん
- ・岸岡ちなみさん
- ・和多田 雄介さん
- ・masaki-chiさん

<和太鼓>

- ・城山鼓葉

<よさこいチーム>

- ・泉北すきやねん
- ・陶器連
- ・三國鷹
- ・柗燕
- ・原山社中

<ゆるキャラ>

- | | |
|------------------|--------|
| ・堺市南支所 | ミミちゃん |
| ・堺市上下水道局 | 水ちゃん |
| ・堺市文化観光コンベンション協会 | ザビエコくん |
| ・大阪府立大型児童館ビッグバン | ワニたん |







奨学金と救援金 高師浜 RC 寄託

30 万円

高石市の高師浜ロータリークラブの本間祥介会長(88)らが24日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社を訪れ、毎日希望奨学金とフィリピン台風被災者救援金として計30万円を毎日新聞大阪社会事業団に寄託した。写真。

ロータリークラブの創立30周年を記念して募った。本間会長は「被害の大きいフィリピン



の災害と、復興の進まない震災被災地への支援に役立ててほしい」と話し、社会事業団の太田正隆・常務理事に目録を手渡した。

毎日希望奨学金は、東日本大震災で保護者を亡くした震災遺児を支援するための制度で、今年度は被災地の高校生ら240人に5766万円が支給されている。【遠藤孝康】



「子宮がんの予防」

子宮頸がんの発生は年々増加の傾向にあり、しかも年齢的に若くなりつつある。現在、そのピークは30歳位である。従って、子宮頸がんの予防には若い頃からの対応が必要となってくる。幸いにして、近年、子宮頸がんになる原因がウイルス感染によることが明瞭となり、その予防法が確立された。

子宮は解剖学的に上部が子宮体部、下部が子宮頸部と呼ばれ、そこに発生するがんも種類が異なり、子宮頸部がんは扁平上皮がん、子宮体部がんは腺がんである。

最近、子宮頸がんが増加しつつあり、30歳台にピークを迎えるようになって来た。一方体部がんの方も急速に増加し、両者の割合が以前の9:1から7対3と変化してきている。

多臓器のがんの発生原因は不明なものが多いが子宮頸部がんの場合は40年位前からHPV（ヒト・パピローマ・ウイルス）の感染と疑われていたが最近、ほぼ確定された。

HPVは皮膚にイボを作るウイルスで現在では100種類以上の型が確認されている。その内、何種類かのウイルスが子宮頸がんの原因となっていることが証明された。それは主としてH16、H18型であり、それら以外にH31、33、35型が分かっている。

それらのウイルスは主として性交渉により感染する。但し、感染したとしても90%の人は免疫反応で自然にウイルスが排除され、残りの10%の人でも、がんの発生をみるのは、またその10%位、すなわち感染者の千分の1の割合でがんの発生をみる。但し、ウイルスは常に感染の危険性があり、一旦排除しても感染を繰り返すことが多いので注意を要する。

子宮頸がんの場合、病原体がはっきりしたので原因となるウイルスに対する免疫体が開発され、このワクチンを接種することにより子宮頸がんを予防することが出来るようになった。

このワクチンはHPV16型及び18型の感染を防ぐワクチンだが、この2種類で子宮頸がんの70%を占めており、更に、それら以外の型にも予防効果があるといわれている。また、このワクチンの効果は20年以上続くことが分かっている。H16はH31、33と、H18がH35型とそれぞれ近縁関係にあり、それぞれ予防効果もあることが証明されている。尚、現在では、念のためにH31、33、35型のワクチンを含むものも、開発されている。

接種対象者としては性交渉を体験するまでに接種することが絶対条件であるが、現在では小学6年生～中学3年生までに接種することが望ましいが性交渉体験前であれば何歳でも効果のあることは当然である。

このワクチン接種の副作用としては他のワクチン接種同様注射部位の腫れ、痛み、発疹の他、全身的には熱発、食欲不振、倦怠感、等が、また一時的に失神がみられることがある。

注射方法は決められた間隔で3回皮下に注射する。1回目と2回目の間隔は1ヶ月、2回目と3回目の間隔は5ヶ月である。

現在では、高校3年生まで国庫補助によって無料で受けられるが次年度のことはまだ決まっていない。

以上、子宮頸がんの予防法であるが、予防接種後も20歳を過ぎれば、最低2年に一回の、頸がん検診を受けることと、HPV感染の有無を検査することが望まれます。

堺清陵ロータリークラブ 週報 No.1062 抜粋

渭東 祥晃様 卓話より





「健康診断」

最近、自分自身の生活習慣を見直し、健康管理や疾病の早期発見のため、健康診査を受ける機会が多くなりました。その中には、胸部レントゲン、心電図、腹部エコー、胃透視、血液検査などの一般的な検査からCTやMRIなどの詳しい検査まで色々な段階があります。

我々の体には、病気になって痛いとか苦しいなどの症状が出てくれば、体の異常に気がつくのですが、何も訴えないときは分かりません。血圧が高い(高血圧)、血糖が高い(糖尿病)、コレステロールや中性脂肪が高い(高脂血症)、などは悪化すれば別だが、早期には特に苦痛もなければ何の症状もないので、自分ではわかりません。だから検査を受けて調べるのです。最近ではこれらの検査についても、以前に比べれば格段の進歩が見られます。

それでは、昔は検診をどのようにしていたのでしょうか。ずっと遡って、安土桃山時代に曲直瀬道三(まなせどうさん)という名医がいました。太閤秀吉の侍医でした。今年の大河ドラマの主人公である江も幼少の頃、見てもらっていたかもしれません。現在では、いかに高貴な女性でも上半身裸になり聴診器で診察するのが普通です。しかし、昔は聴診器もなく、また病気でもないのに健診(そのような言葉があったのかどうか知らぬ)で高貴な女性の肌に触れる事は不可能でした。では、どのように日常の健診をしていたのでしょうか。トイレの便器の下部が引き出し式になっていて、便を道三のところに運ばれてきました。来る日も来る日も高貴な人の便をチェックして健診したそうです。要するに検便です。

道三というのは本名ですがその頃、医者や文人は号というものをつけていました。松尾甚七郎宗房が松尾芭蕉と名乗るようなものです。そこで、道三は「雖知苦齋」(すいちくさい)と号したという。これは、「知るといえども苦しいなり(齋)」で、つまり「医者の仕事はなかなか大変だ」ということです。しかし、苦齋「クサイ」と読み「わかっちゃいるけど(検便は)臭いんだよな」と言う意味にもとれます。案外こちらは真相かも知れないと、井澤元彦氏は書いています。

堺清陵ロータリークラブ 週報 No.1001 抜粋
2011-12 年度健康管理委員会 木寺克彦様より

第2640地区 出席報告 (2014年2月)



第2640地区 出席報告 (2014年2月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	2月	平均	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	2月	平均
	13.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計		出席率	出席率		13.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計		出席率	出席率
有田	28	26	0	0	0	2	4	88.46	87.17	那智勝浦	16	17	0	1	0	0	4	84.38	82.42
有田2000	15	15	0	1	0	1	4	96.67	97.34	大阪千代田	24	30	0	10	0	4	4	91.00	90.00
有田南	32	32	0	0	0	0	3	88.74	91.19	大阪金剛	22	21	0	0	0	1	4	83.80	87.60
泉州 KUMATORI	16	50	0	38	0	4	4	100.00	100.00	大阪狭山	10	10	0	0	0	0	4	83.30	83.90
Rotary E-Club Sunrise of Japan	19	21	2	5	0	3	4	100.00	100.00	りんくう泉佐野	19	19	0	0	0	0	4	80.56	81.13
藤井寺しゆら	7	8	0	1	0	0	4	87.50	91.10	堺	64	66	0	3	0	1	4	90.76	92.80
御坊	44	46	0	4	0	2	4	76.30	82.83	堺東	31	30	0	0	0	1	3	96.55	98.36
御坊東	14	15	0	1	0	0	4	85.00	85.46	堺フラワー	26	33	1	10	1	3	4	92.00	93.00
御坊南	27	30	1	5	0	2	3	85.29	79.63	堺泉ヶ丘	22	22	0	0	0	0	3	96.97	96.73
羽曳野	15	14	0	0	0	1	4	80.35	85.32	堺中	22	22	0	0	0	0	4	76.13	75.37
羽衣	14	15	0	1	0	0	4	85.00	89.59	堺北	28	31	0	5	0	2	4	84.67	86.91
橋本	52	52	0	4	0	4	4	89.48	89.53	堺おおいずみ	27	32	0	6	0	1	4	79.47	82.65
橋本紀ノ川	10	10	0	0	0	0	3	83.33	93.51	堺フェニックス	31	34	0	4	0	1	4	76.57	78.77
岩出	28	28	0	0	0	0	4	85.71	87.15	堺清陵	15	15	0	0	0	0	3	95.24	93.51
和泉	22	23	0	1	0	0	4	95.45	94.63	堺南	20	18	0	0	1	2	4	82.09	87.21
泉大津	41	40	0	1	0	2	4	83.49	84.75	堺東南	10	9	0	0	1	1	4	86.61	82.37
泉佐野	28	27	0	2	0	3	4	87.05	89.36	新宮	56	57	0	2	0	1	3	86.55	84.64
和泉南	29	26	0	1	0	4	4	64.41	66.14	白浜	8	9	0	1	0	0	4	83.34	94.39
海南	29	30	0	1	0	0	4	74.20	77.96	太子	11	9	0	1	0	3	4	84.40	69.30
海南東	51	50	0	1	0	2	4	72.00	75.07	高石	26	29	0	3	0	0	3	75.00	75.29
海南西	19	19	0	0	0	0	4	88.82	86.74	高師浜	15	16	0	2	0	1	4	89.29	82.87
貝塚	17	18	0	1	0	0	3	98.15	95.47	田辺	81	82	0	4	0	3	4	82.69	84.51
貝塚コスモス	14	15	0	1	0	0	4	83.76	84.59	田辺東	50	51	0	2	0	1	4	95.13	96.91
関西国際空港	19	20	0	1	0	0	3	85.00	85.10	田辺はまゆう	44	47	0	3	0	0	3	85.19	78.02
河内長野	29	29	0	1	0	1	4	89.50	87.60	富田林	38	39	0	1	0	0	4	63.67	72.34
河内長野東	25	25	0	1	0	1	4	85.41	84.81	富田林南	15	15	0	0	0	0	4	81.67	82.09
岸和田	31	30	0	0	0	1	4	85.30	87.54	和歌山	62	65	0	5	0	2	3	80.49	80.00
岸和田東	41	42	0	1	0	0	4	95.41	95.72	和歌山アゼリア	31	34	0	3	0	0	4	79.69	84.32
岸和田北	10	10	0	0	0	0	3	100.00	100.00	和歌山東	41	42	0	2	0	1	4	81.95	80.66
岸和田南	13	11	0	0	0	2	4	80.00	64.83	和歌山城南	41	41	1	2	0	2	4	74.81	80.11
粉河	17	17	0	0	0	0	4	95.30	96.60	和歌山中	29	29	0	0	0	0	3	93.92	88.56
高野山	16	15	0	0	0	1	4	88.25	85.84	和歌山北	37	37	0	1	0	1	3	84.03	79.95
串本	12	12	0	0	0	0	3	63.89	65.94	和歌山南	79	84	3	9	0	4	4	82.03	81.85
松原	26	22	1	1	0	5	4	93.86	90.39	和歌山東南	47	52	0	5	0	0	3	83.99	83.83
松原中	21	22	0	1	0	0	4	92.37	89.12	和歌山西	15	14	0	0	0	1	4	100.00	100.00
美原	11	10	0	0	0	1	3	86.70	89.40										

クラブ	7月1日クラブ会員数				2月末クラブ会員数				2月平均出席率	入会		退会	
	男性	女性	1798	159	男性	女性	1861	175		2月	累計	2月	累計
71	1956				2036				85.75	9	160	3	79



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー
第2640地区月信



DISTRICT 2640

2013-2014年度ガバナー事務所

〒596-0825 大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号 3F

TEL:072-437-2640

FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>

